



スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年5月12日 第5号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

5/12(金) 全校朝礼でのお話より



今日はまず、先生方が書いた5月2日提出の週案(1週間の予定を記したもの)に書かれたコメントから、いくつか紹介します。

<1年：和田先生> 28日の研修で「年長のプライド」という言葉を聞きました。子どもを信じて任せてみたり、チャレンジさせてみたりしようと改めて思いました。

校長から 我が娘が昨年度5歳児担任で、いろいろな活動について聞かせてくれました。その中で特に印象に残っているのが、「5歳児が年少・年中のクラスに行って、考えた遊びをマンツーマンで一生懸命に教えてあげる活動」でした。自分よりも小さな子に一生懸命に教えている姿はまさに「年長のプライド」そのものだと思います。

1年生の気持ち、大切にしていってあげたいですね!どうぞよろしくお祈りします。

<2年：田川先生> 先週の畝づくり、子どもたちは「自分たちが頑張って、植える準備ができた!」と嬉しそうでした。(畑ボランティアさんをお願いし、今年度初めて、畝づくりから参加することにしたのです。)次は、苗を買って苗植えをし、自分たちの野菜が大きくなるためには何が必要か、子どもたちが考えられるようにしていきたいです。



校長から 2年生が「自分事としてどうしようか考える」ところが素晴らしいですね!だからこそ、成功したら「達成感」、失敗したら「くやしさと、次はどうしたらよいか考えよう」の気持ちが大きく感じられるのです。子どもたちが達成感を味わうための陰の準備を怠らず、子どもたちをどんどんチャレンジの場に出してください!!

<3年：岩本先生> 月末大掃除、教卓や踏み台などの重いものは先に移動させておいて、「いつもは拭かないところもよろしくね」と言い班長に任せました。しばらくすると「そっち持って」「ここも拭こう」と声をかけ合って掃除をする姿が見られるようになった。班長だけではない。低学年も積極的に掃除をしている。一人ではできない課題にぶつかったり、はっきりした目標があったりすると、子どもたちは自然に協力するようになる。掃除の時に話していると「口を閉じて」と注意してしまいが、本当に「みんなで力を合わせよう」としているときには、声をかけ合うのが自然な姿なのかも知れない。



校長から 全くその通りだと思います。まさしく、R5スクールプラン「自分たちの課題に気づき、考えを出し合って決めて実行する」子どもの姿が清掃の場面で見られていたということです。そんな時の我々の支援は「静かに」なんかでは絶対になく、話し合いを見守ることですね!!本当にありがとうございます。

<5年：松浦先生> (クラス替えから1ヶ月)少しずつ思いが伝えられるようになってきたと思います。頑張ろうという思いも見えてきました。子どもたちの考えを聞きながら、「どんなクラスにしたいか」「宿泊に向けて何を頑張りたいか」決めていきたい。

校長から 「どんなクラスにしたいか」大事ですね!ぜひ、子どもたちが考えて、子どもたちが決めてほしいです。

<高嵯教頭先生> 慌ただしかった年度はじめが終わり、少しホッとしています。教育活動も落ち着いて進められていくので、学校全体の様子を見て対応していきたいと思えます。

校長から GW明けの子どもたちと先生方の様子によく気を配っていききたいですね。

4月始めから本日発行の学校だより第3号までで、先生方へお願いしたいことはお伝えしたので、あとは、東郷っ子に力をつけるため、どう具現化して下さるか!もう楽しみです!



これら先生方の言葉から、どんな声や思いが聞こえてくるでしょうか。私にはこう聞こえてきます。

「子どもの『やってみたい!』という気持ちを大切にしよう。何でも最初から心配して、大人がルールをひいてばかりではダメ。子どもの力を信じよう。」

「やらされるからするのではなく、『自分事』として考え、失敗してもいいから挑戦する子どもを育てたい。自分たちで考えたことは、失敗もふくめて大切な経験だから!」

「自分たちの生活の『課題や目標』に自分たちで気づけば、子どもたちは自然に考え始める。行動し始める。その時、私たち大人がどんな支援をするか、だ。」

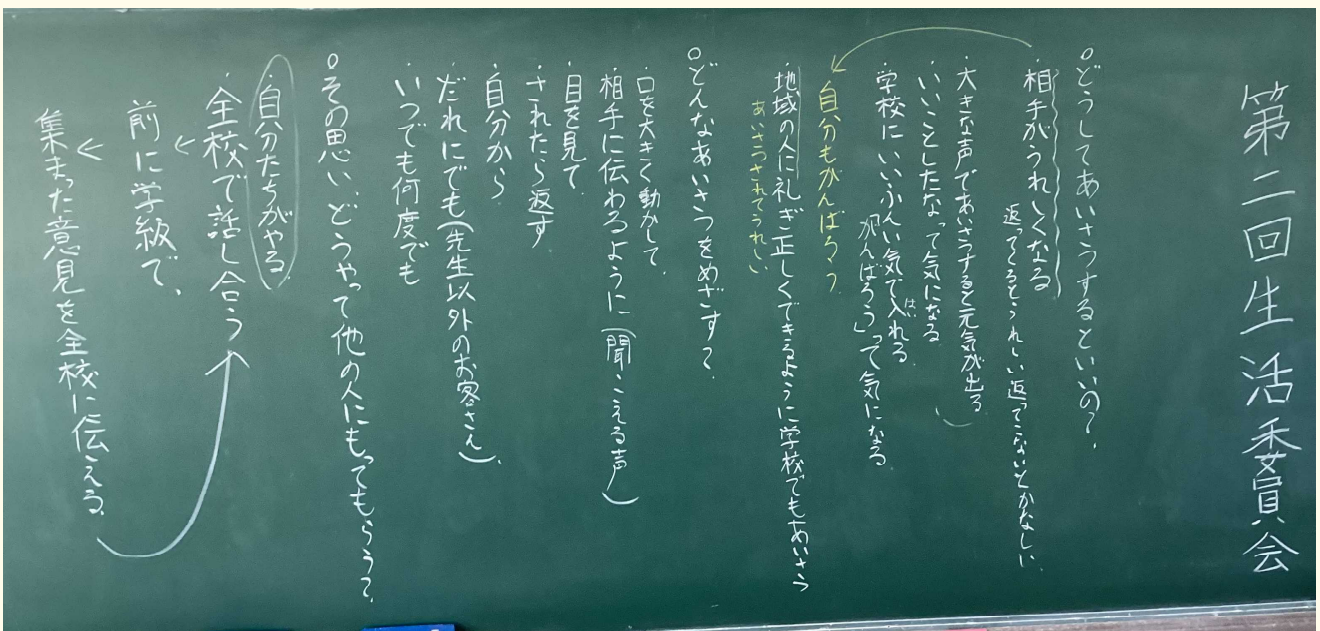
どうですか。先生たちにはもう、その準備と覚悟ができはじめています。それは、

学校のいたる場面に「課題(考えないといけないこと)」は、ある。

それが子どもたちの課題であるならば、**子どもたちが自分で気づき、**
どうしたらよいか自分たちで考えて決め、自分たちで決めたことを実行
していくように、支援していく!

ということです。(これは学校だより第3号「スクールプラン」でも触れました。)

さあ、児童の皆さん、どうしますか。自分たちの事として考えたいことがあるのなら、そのために必要な時間や場所(もしかしたら、必要なものを買うためのお金も!)は、先生に言ってみたらいいのでは?私たち大人にはそのための準備、できています。



最後に。5月8日の委員会で、**生活委員会のみんが**「あいさつ」について考えてくれた内容(上の黒板)をみんなに伝えておきます。担当の倉元先生が「**6・5年生、本当によく考え、たくさんの思いを発表してくれました!**」と興奮気味に私に報告してくれました。話題は、東郷小で課題となっている「あいさつ」(特に校舎内について)についてです。

「どうしてあいさつをされるといいの?」「どんなあいさつをめざす?」のあと、「その思い、どうやって他の人にもってもらおう?」のところに注目です。

・自分たちがやる。

・学級で話し合う → 集まった意見を全校に伝える → 全校で話し合う



楽しみですね~!! 「自分たちの課題なんだから自分たちで考え、意見を出して決め、自分たちで実行する」準備が、子どもたちにもできているようです。ん?何やらこのあと、生活委員会から全校児童に向けて発表があるようですよ…。私はもう、楽しみでしかありません。さあ、先頭を切って、**全校話し合いまで、もっていけ!!!**